

ビルダー・工務店

設計事務所

建材メーカー・販売店

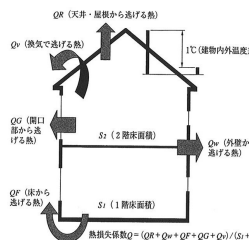
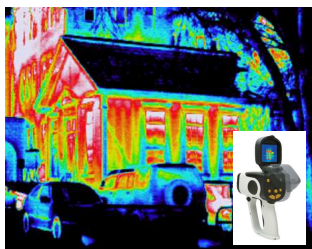
木造関連技術者
必聴!!

木造住宅の

セミナー・シンポジウム

「性能化技術」を考える

変化の時代を生きる、地域材の活用と耐震・環境・エネルギーの選択



品確法

住宅性能表示制度

認定長期優良住宅

省エネ・省CO₂化

地域型住宅ブランド化

省エネ基準改定

認定低炭素住宅

ゼロエネルギー化

ネットゼロハウス

自立循環型

LCCM住宅

住宅業界は激動の時期を迎えています。少子高齢の人口減少時代を目前に控え、住まいには長期間の使用に耐える耐震・耐久性が求められ、そうした長期優良住宅を適正に維持管理していく仕組みが必要になっています。また、省エネ・省CO₂の地球環境対策は、東日本大震災以降、エネルギー需給の逼迫で急加速され、国を挙げて住宅のゼロエネルギー化に向けた取り組みが始まっています。

キーワードは「木造住宅の性能化」です。長期優良かつ低炭素な住まいづくりにつながる「性能化技術」への対応が喫緊の課題となっています。激流のような国の住宅施策の流れに対応できる技術力を身に付けなければ、国が推進する補助金活用の土俵にさえ上がれず、5～10年後に生き残る保証は得られません。

焦眉の急となっている地域材の活用や耐震・環境・エネルギーの選択にどのように対応したらいいのでしょうか？その鍵を握る「木造住宅の性能化技術」をともに考えてみましょう。

木質材料・木質構造技術研究基金賞 受賞記念セミナー・シンポジウム

参加費
無料
(定員250人)

木造住宅の「性能化技術」を考える

～ 変化の時代を生きる、地域材の活用と耐震・環境・エネルギーの選択 ～

■ 日時 平成24年7月7日(土)PM2:30～5:30 (開場2:00)
■ 会場 札幌パークホテル・3階パークホール (札幌市中央区南10条西3丁目)

時間	演題
第1部	【 記念講演 】 木質構造建築時代の夜明け ～手塚純一氏の木質材料・木質構造技術研究基金賞受賞について 東京大学木質構造学 特任教授 安藤 直人 氏
14:45 ～ 16:00	【 記念講義 】 安全な「器」の条件 ～道産材を活用した耐震化の性能技術・商材 J建築システム株式会社 代表取締役 手塚 純一 氏
第2部	【 記念シンポジウム 】 北海道の「木造住宅」への提言 ～高断熱化住宅の安全・環境性能を支える技術の今後 ○パネリスト 東京大学木質構造学 特任教授 安藤 直人 氏 一般財団法人ベターリビング 住宅部品評価グループ長 米澤 昭 氏 16:10 地方独立行政法人北海道立総合研究機構・建築研究本部 北方建築総合研究所 副所長 福島 明 氏 ～ J建築システム株式会社 代表取締役 手塚 純一 氏 17:20 ○コーディネーター 地方独立行政法人北海道立総合研究機構・建築研究本部 企画調整部長 大柳 佳紀 氏

開会挨拶 : 耐雪・耐震 道産木住宅推進協議会 竹内 俊朗 副会長

共催 : 耐雪・耐震 道産木住宅推進協議会、北海道林業・木材産業対策協議会

後援 : 北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構・建築研究本部・北方建築総合研究所、北海道木材産業協同組合連合会、一般社団法人北海道エコエネルギー技術協会

STEP-1 柱脚・柱頭の接合方法

STEP-2 開口の耐震化

アラミド繊維シート

耐震開口フレーム

耐圧版式グリッドポスト

ルーズレスワッシャー

BOXビーム

Jコネクター

リミテッド基礎

シェルターユニットバス

木造住宅合理化システム

住宅性能型式認定

長期性能タイプ

構造計画

構造計算

室内環境

技術協力

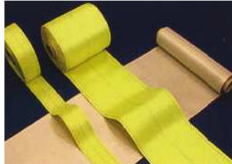
コンサルティング

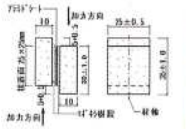

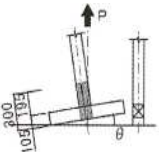

ビルダー・工務店

設計事務所

建材メーカー・販売店

木造関連技術者
必聴!!



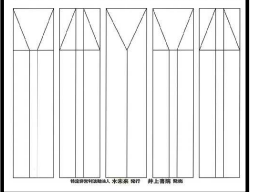
- 1999 ○アラミド繊維の木質構造向けの研究開発
- 2000 ○課題対応新技術研究調査事業F/S採択
○北海道立林産試験場 接合部引張試験
- 2002 ○課題対応新技術研究開発事業R&D採択
○北海道大学野口研究室 単純梁の曲げ引張試験
○北海道立林産試験場 T型及び基礎付き接合引張試験
- 2003 ○北海道立林産試験場 耐久性試験
・冠水、耐温水、煮沸、凍結融解によるブロックせん断試験
 
- 課題対応新技術研究開発事業R&D採択
- 2004 ○(財)日本建築センター「技術審査証明」取得
- 2005 ○東京大学大学院 安藤研究室 傾斜付引張試験
・変形追従性を持たせた接合方法による耐力の検証
- 2007 ○東京大学大学院 安藤研究室 引張試験
・引張と回転が同時のアラミドシート接合の検証
 
- 2008 ○北海道立林産試験場 接着耐久性に関する試験及び評価
・引張と回転が同時のアラミドシート接合の検証
○重要文化財「札幌農学校第2農場(北大)」耐震診断実施
- 2009 ○登録有形文化財「宮部記念館」にJ-耐震開口フレームを設置
- 2010 ○札幌弁護士会住宅紛争処理委員就任
- 2011 ○ONPO法人「木未来」理事に就任

- 1997 ○耐震開口フレームの企画
・阪神淡路大震災 現地調査～開口から崩壊確認
- 2000 ○武蔵工業大学 望月研究室
課題対応新技術研究開発事業F/S
- 2002 ○(株)ボラス暮し科学研究所
課題対応新技術研究開発事業R&D
- 2003 ○(財)建材試験センター、(株)ボラス暮し科学研究所
課題対応新技術研究開発事業R&D
- 2004 ○建築研究所「木造住宅の耐震補強構法技術コンペ」
・国土交通大臣賞「受賞」
 
- 2005 ○(財)建材試験センター
(課題対応新技術研究開発事業R&D)
○施行規則第1条の3第1項(1条認定)大臣認定 取得
TWDB-0062
- 2006 ○東京大学大学院 安藤研究室
・既往の研究開発に伴う実験の再評価とまとめ
○東京大学大学院 安藤研究室
・主要接合部の要素試験より回転パネ特性を取得
・フレームモデルの過重増分解析により許容せん断耐力を算定し、耐力算定式を確立
 
- 2007 ○(財)日本建築防災協会 住宅等防災技術評価取得
DPA-住技-4
- 2008 ○(財)兵庫県住宅建築総合センター主催「住宅耐震改修工法コンペ」兵庫県知事賞 受賞

新・木質構造建築読本 ティンバーエンジニアリングの実践と展開

手塚純一氏は昨年12月、木質構造研究会（稲山雅弘会長）の「大熊幹章賞※」を受賞されました。それを記念して、手塚氏が理事を務めるNPO法人木未来（安藤直人理事長）にご協力いただき、木質構造技術者必携の名著「新・木質構造建築読本～ティンバーエンジニアリングの実践と展開」（1988年初版の大幅改訂版）を会場にてご案内致します。
※ 木質材料・木質構造技術研究基金賞

新・木質構造建築読本



参加申込書

お申込み・問い合わせ先 耐雪・耐震 道産木住宅推進協議会事務局
〒005-0822 札幌市南区南沢2条3丁目13-30 J建築システム(株)内

勤務先	名称	
	所在地	
	連絡先	
参加者	氏名・役職	
	氏名・役職	
	氏名・役職	

※ 上記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。

※ お申込締切日：平成24年6月30日(土)

FAX:011-573-7811 TEL:011-573-7779